

発達障害者のワークシステム・サポートプログラム

発達障害者の強みを活かすための

相談・支援 ツールの開発

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
障害者職業総合センター職業センター

はじめに

障害者職業総合センター職業センターでは、平成17年度から、知的障害を伴わない発達障害のある方を対象とした「発達障害者のワークシステム・サポートプログラム」を実施し、実際の支援をとおして発達障害者に対する職業リハビリテーション技法の開発・改良を進めてきました。その開発成果については、継続して、実践報告書や支援マニュアルに取りまとめるとともに、職業リハビリテーション研究・実践発表会を始め様々な機会をとおして発信しています。

本マニュアルは、発達障害のある方の自己肯定感の持ちづらさを背景に、「強み」の認識とその活用を促すための相談・支援ツールの開発に令和3年度より取り組んだ成果を取りまとめたものです。「強みの理解をすすめる講習」、「強みの活用にチャレンジするホームワーク」、「自らの強みに気づきやすくするためツール」など、本支援技法は発達障害のある方々の職業指導、職業相談等就労支援に活かせるものとなっています。

なお、本技法開発にあたり、東京成徳大学応用心理学部臨床心理学科准教授 石村 郁夫 氏、国立精神・神経医療研究センター認知行動療法センター科研費研究員及び目白大学心理学部心理カウンセリング学科助教 駒沢 あさみ 氏から、それぞれの専門的知見に基づき、ご助言を賜りましたことを深く感謝申し上げます。

本マニュアルが、発達障害のある方の就労支援現場において活用され、職業リハビリテーションサービスの質的向上の一助となれば幸いです。

令和5年3月

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
障害者職業総合センター 職業センター
職業センター長 中村 雅子